

GINGA REPORT 401

No. 102
2023.11

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和5年11月1日
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム
電話：059-355-2700

11月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

すばるが一番美しい

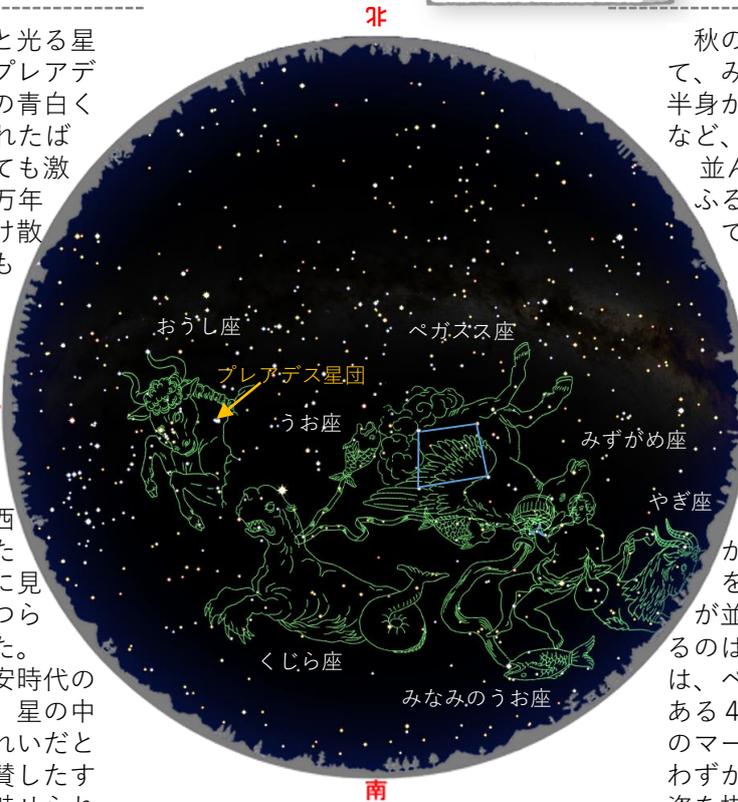
11月15日21時の星図

水に関する星座

おうし座の中には、ぼーっと光る星の集まりが見えます。これがプレアデス星団です。プレアデス星団の青白く輝く星々は5000万年前に生まれたばかりの赤ちゃん星ですが、とても美しく輝く星のため、あと5000万年のうちに大爆発を起こして砕け散る運命にある短命な星たちでもあります。

そんな儚く淡い星の群れを日本ではすばると呼んでいました。すばるは統べると書いて、星たちが糸で結ばれるように集まっているという意味からきています。そしてこのすばるという名は、主に西日本で古くから親しまれてきたもので、東日本では星団の中に見える星の数から、六連星（むつらぼし）の名で呼ばれていました。

そんなすばるの輝きを、平安時代の清少納言は「星はすばる」と、星の中ではやっぱりすばるが一番きれいだと讃えています。清少納言も絶賛したすばる。一度みればその輝きに魅せられることでしょう。



秋の星座には、うお座をはじめとして、みずがめ座やみなみのうお座、下半身が魚の姿をしたやぎ座やくじら座など、水に関係のある星座がずらりと並んで見えます。これは、星座のふるさとして地中海や中近東方面で、この秋の空を太陽が通りすぎるころに、雨季がやってきたことから、水に関係する星座が描かれたとされています。

その中で、みずがめ座の星座絵では、少年ガニューメデスが大きな水瓶を肩にかつぎ、その瓶から流れ落ちる水がみなみのうお座の口に注がれるように描かれています。このような姿から、みずがめ座は空の広い領域を占めていますが、暗い星ばかりが並んでいるため、全体像を見つけるのは大変な星座です。探したいときは、ペガサスの四辺形の南西の方向にある4等の星がつくる三矢（みつや）のマークを探してみてください。このわずかな手がかりから、みずがめ座の姿を描くことができれば、喜びもひとしおかもしれません。

開館30周年記念 宇宙塾

宇宙の謎と魅力を語る

最新の研究によって解き明かされてきた広大な宇宙の謎について、星の起源を中心に研究されてきた福井康雄先生に、これからの天文学の展望も踏まえ、お話ししていただきます。

日時：11月4日（土）18：20～20：00

場所：5階 GINGA PORT401（プラネタリウム）

講師：名古屋大学大学院名誉教授 福井康雄

定員：140人

料金：無料※当日9：30から1階総合受付で座席券を発券します。

（1人につき1席分まで）

難易度：初級（中学校程度） その他：中学生以下は保護者同伴



ガリレオ教室



プラネタリウムのひみつ

今年の10月で、近代プラネタリウム誕生から100年が経ちました。プラネタリウムについて天文ボランティアと一緒に振り返りましょう。

日時：11月12日（日）

① 11：00～11：20

② 14：00～14：20

場所：5階 コズミックラウンジ

料金：無料



博物館主催 スターウォッチング

博物館主催きらら号観望会

日時：11月25日（土）17:30～19:00

場所：博物館前市民公園

内容：月・木星・土星を見よう



編集後記

11月になると、秋も本番ですが、その中でも冷たい風が吹く日や、冬の星座が夜空に昇ってきていることから、冬の足音も聞こえはじめていることに気が付きます。

この時期は、やっと見えてきた明るい冬の星にどうしても目を奪われがちですが、今しか見ることができない秋の星座たちも西の空へと沈んでいってしまう前にしっかりと見ておきたいものです。

11月の月

5日  下弦

13日  新月

20日  上弦

27日  満月

※申し込み不要、参加無料、天候不良時は中止。
※参加者が多い場合は受付を制限することがあります。
※天候不良等による実施判断は、開始時刻の3時間前に当館ホームページ及びFacebookで発信します。